

## Ⅲ 主要施策

### i 復興へ向けた重点プロジェクト

福島県復興計画「ii 具体的取組と主要事業」のうち、本県の復旧・復興のための特に重要な主要事業を、政策目的別に12の「重点プロジェクト」として位置付けた。

各プロジェクトにおいては、目指す姿とプロジェクトの内容を示した。本県が災害から復興を成し遂げるために、全ての力を結集し、これらのプロジェクトを推進する。

## 復興へ向けた重点プロジェクト 全体図

### 安心して住み、暮らす

- 1 環境回復プロジェクト
- 2 生活再建支援プロジェクト
- 3 県民の心身の健康を守るプロジェクト
- 4 未来を担う子ども・若者育成プロジェクト

### ふるさとで働く

- 5 農林水産業再生プロジェクト
- 6 中小企業等復興プロジェクト
- 7 再生可能エネルギー推進プロジェクト
- 8 医療関連産業集積プロジェクト

### まちをつくり、人とつながる

- 9 ふくしま・きずなづくりプロジェクト
- 10 ふくしまの観光交流プロジェクト
- 11 津波被災地復興まちづくりプロジェクト
- 12 県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト

# 1 環境回復プロジェクト

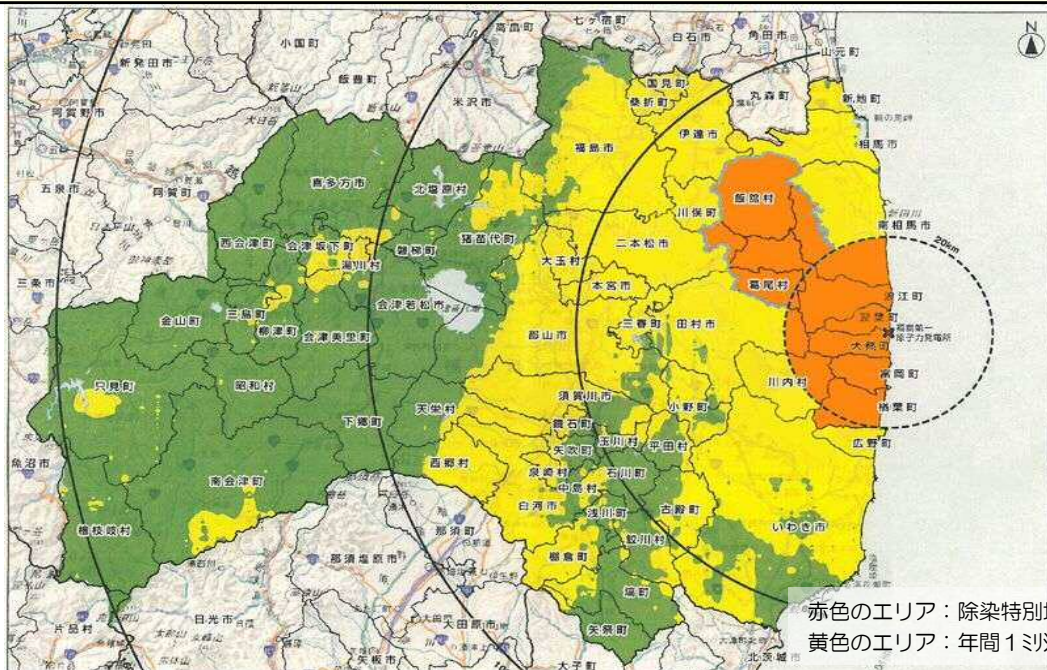
## 目指す姿

- 県民のふるさとへの一刻も早い帰還や安心して生活できる環境の確保に向け、放射性物質に汚染された生活圏、農地、森林などの徹底した除染及び汚染廃棄物の円滑な処理により、美しく豊かな県土が回復している。
- 農産物など食品の検査体制強化により流通・消費における安全が確保され、県内で生産された食品が安心して消費されている。

## プロジェクトの内容

### 1 除染の推進

- (1) 全県におけるモニタリングの充実・強化  
全市町村の小学校や集会所などにモニタリングポスト設置
  - (2) 生活圏（家屋・庭、道路、学校・幼稚園・保育所・公園など）、農地、森林などについて、放射性物質汚染対処特措法に基づき、国、県、市町村などが連携して除染を実施し、その効果を確認（除染実施計画の策定・実施に当たっては、他地域へ影響を及ぼさないよう配慮）
    - ① 除染特別地域  
〔実施主体〕国 〔目標〕段階的かつ迅速に縮小
    - ② その他の地域  
〔実施主体と除染対象〕国：国が管理する土地・施設等  
県：県が管理する土地・施設等  
市町村：各除染実施計画に基づく除染対象
- 特定避難勧奨地点は、市町村の除染実施計画に基づき優先的に実施  
〔長期的目標〕追加被ばく線量が年間1ミリシーベルト（＝毎時0.23マイクロシーベルト）以下  
〔短期的目標〕平成25年8月末までに
- ・県民の追加被ばく線量 約50%減少
  - ・子どもの追加被ばく線量 約60%減少
- (3) 農地の除染は、県産農産物等から放射性セシウムが検出されないことを目標として実施
  - (4) 除染により生じた土壌等の仮置場等の確保、維持管理



## 2 食品の安全確保

- 農産物などのモニタリング体制の強化、住民自らが身近なところで食品を検査できる環境の整備

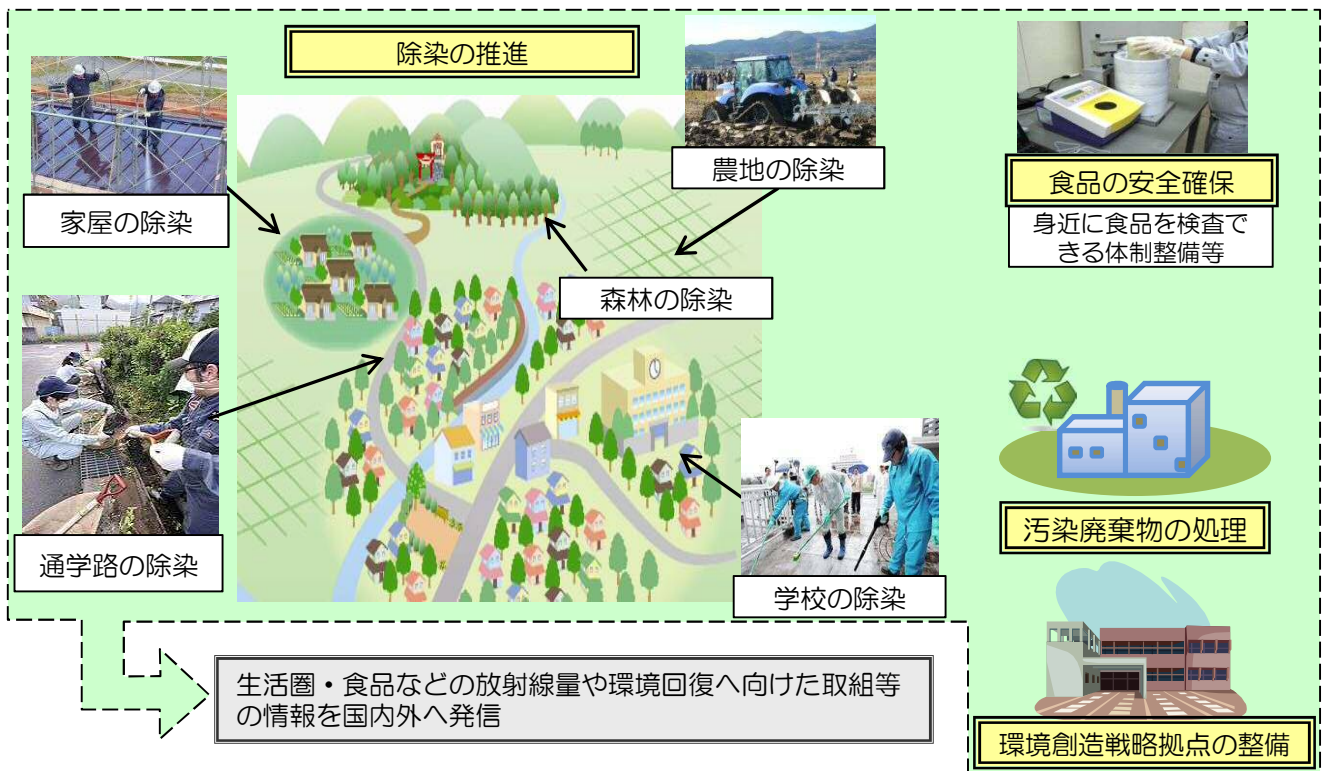
## 3 汚染廃棄物の処理

汚染・災害廃棄物の円滑な処理

- 汚染廃棄物の一時保管量 下水汚泥等約2万3百トン、焼却灰約2万1千トン など
- 災害廃棄物の発生見込量 438万トン（可燃物65万トン、不燃物373万トン）

## 4 拠点の整備

- 環境放射線モニタリング強化機能をはじめ、環境回復のための調査研究機能、情報発信機能、教育研修機能を備えた拠点施設の整備  
（※研究者及び研究機関のネットワーク構築などによる医療の拠点等との連携）
- 国内外の研究機関の誘致



## プロジェクト主要事業

### 【除染の推進】

- ◆モニタリングポスト緊急整備事業（応-8-4）
- ◆応急的モニタリングポスト整備事業（応-8-5）
- ◆線量低減化機器等整備事業（応-8-15）
- ◆線量低減化活動支援事業（応-8-17）
- ◆緊急的生活空間除染事業（応-8-18）
- ◆市町村除染対策支援事業（応-8-19）
- ◆除染対策推進事業（応-8-20）
- ◆農地等の除染を行うための事業（応-8-24）
- ◆森林等の除染を行うための事業（応-8-25）

### 【食品の安全確保】

- ◆農林水産物等モニタリング事業（応-8-10）
- ◆放射能簡易分析装置整備事業（応-8-11）

### 【汚染廃棄物の処理】

- ◆放射性物質に汚染された災害廃棄物の処理（応-8-28）
- ◆放射性物質に汚染された農業系廃棄物の処理（応-8-32）
- ◆下水汚泥放射能対策事業（応-8-29）
- ◆「ふくしま絆」流木リサイクル推進モデル事業（応-2-20）

### 【拠点の整備】

- ◆環境創造戦略拠点の整備及び研究を推進するための事業（原-3-1）
- ◆IAEA等の国内外の研究機関等の誘致活動（原-6-1）

## 2 生活再建支援プロジェクト

### 目指す姿

被災者が安心して暮らすことができる環境の整備と雇用の確保により、生活再建が進んでいる。

### プロジェクトの内容

### 生活再建へ

#### 県内避難者への支援内容

##### 1 安心できる生活の確保

- 賠償金の請求支援
- 被災者生活再建支援金の活用
- 相談窓口の設置等
- 治安体制の整備



##### 2 住環境の再建支援

- 応急仮設住宅の整備、コミュニティ確保
- 仮設住宅等の環境整備
- 住まいに関する相談窓口の設置
- 二重ローン等の解消へ向けた取組
- 日常生活に近い癒される快適空間づくり

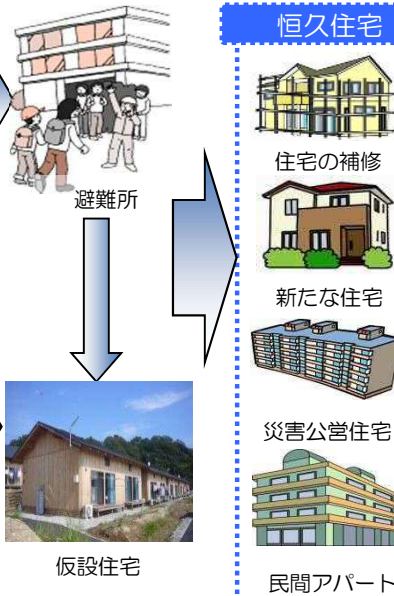


##### 3 雇用の維持・確保

- 地域の企業等が早期に事業再開できるよう多様な金融支援
- 緊急雇用創出基金活用による雇用の確保
- 企業誘致による雇用創出
- 避難先での営農再開に向けた支援



#### 住環境再建イメージ



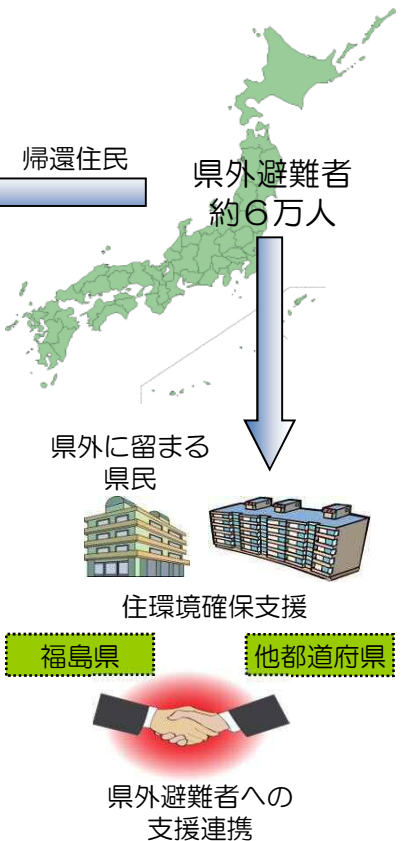
※「7. 再生可能エネルギー推進プロジェクト」と連携して整備する。

#### 雇用創出のイメージ



#### 県外避難者への支援内容

県内への帰還を目指す避難者や、県外での避難生活を続けざるを得ない県民を多方面からサポート



### プロジェクト主要事業

- 【安心できる生活の確保】 ◆高齢者等サポート拠点整備事業（応-①-15）、 ◆ふるさとふくしま巡回就職相談事業（応-③-2）、 ◆震災孤児等を支援する事業（子-①-28）、 ◆新たな地域コミュニティ形成に伴う絆づくり事業（災-⑥-3）
- 【住環境の再建支援】 ◆避難地域等のコミュニティ再生を支援する事業（応-①-11）、 ◆原発避難市町村の災害公営住宅整備事業の推進（絆-①-13）、 ◆被災者の住宅再建支援のための事業（絆-①-14）、 ◆緊急雇用創出基金事業（応-③-1）、 ◆中小企業制度資金貸付金（応-③-7）、 ◆農家経営安定資金金融通対策事業（応-③-21）、 ◆避難先での一時就農等を支援するための事業（応-③-33）
- 【雇用の維持・確保】

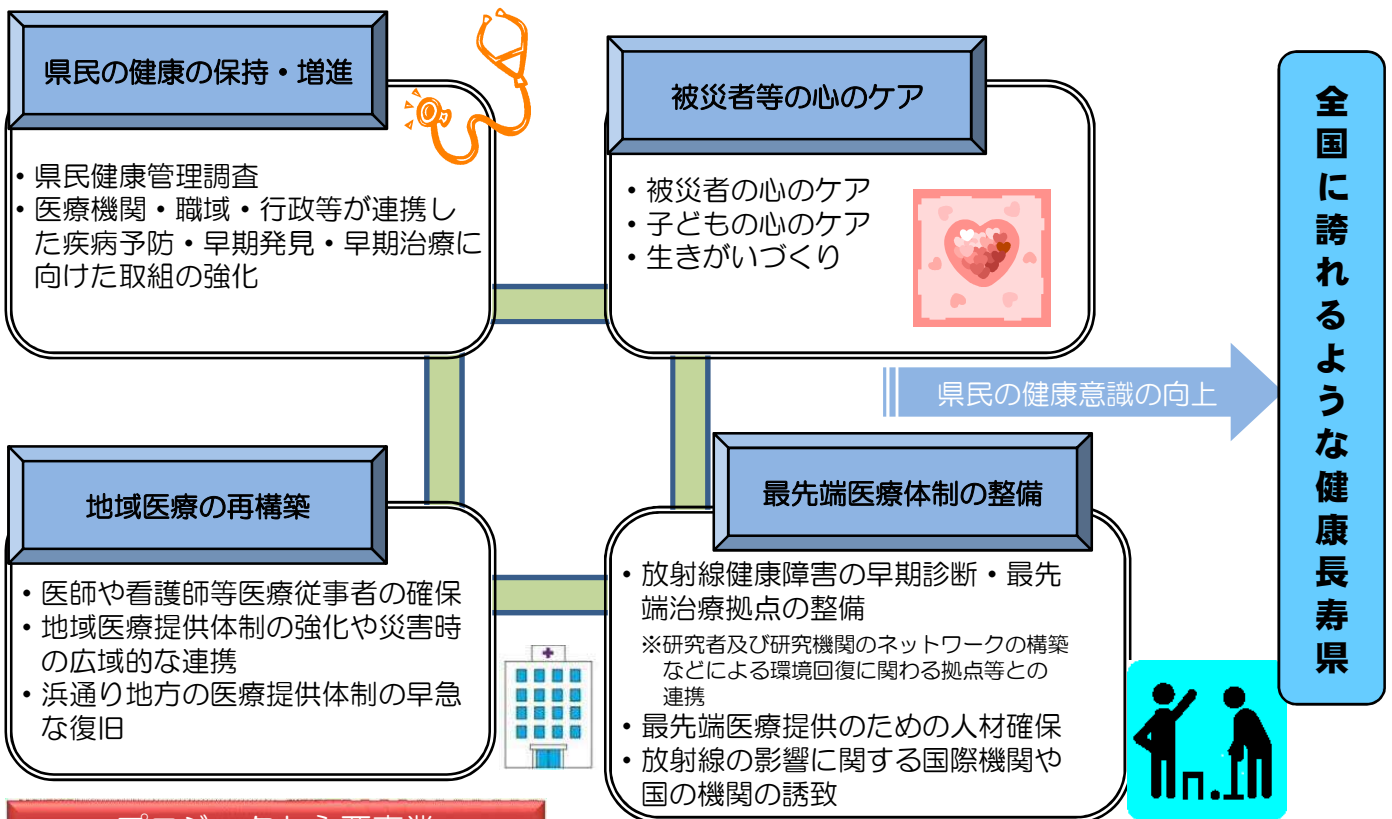
### 3 県民の心身の健康を守るプロジェクト

#### 目指す姿

長期にわたる県民の健康の見守り等を通して、これまで以上に県民の心身の健康の保持・増進を図ることで、全国にも誇れるような健康長寿県となっている。

#### プロジェクトの内容

- 1 県民の健康の保持・増進
- 2 地域医療の再構築
- 3 最先端医療提供体制の整備
- 4 被災者等の心のケア



#### プロジェクト主要事業

##### 【県民の健康の保持・増進】

- ◆県民健康管理事業など(応-⑧-33,35)、◆仮設住宅等の被災者に対する健康支援活動(応-④-32)、◆応急的モニタリングポスト整備事業(応-⑧-5)、◆農林水産物等モニタリング事業(応-⑧-10)、◆飲料水の放射性物質モニタリング体制の整備(応-⑧-9)、◆放射能簡易分析装置整備事業(応-⑧-11)、◆食品中の放射性物質の検査を実施する事業(応-⑧-12)、◆野生鳥獣放射線モニタリング調査事業(原-①-11)

##### 【地域医療の再構築】

- ◆ふくしま医療人材確保事業(応-④-19)、◆地域医療再生基金事業(子-①-32)、◆医療施設災害復旧事業(応-④-18)、◆地域医療支援センター運営事業(応-④-16)、◆看護職員等緊急確保対策事業(応-④-21)

##### 【最先端医療体制の整備】

- ◆放射線医学県民健康管理センターの整備(原-④-15)、◆国際的先端医療を開発・普及するための事業(原-④-14)
- ◆最先端医療提供のための人材確保(原-④-16)、◆国内外の保健医療機関との連携・協働(原-④-17)

##### 【被災者等の心のケア】

- ◆被災者の心のケア事業(応-①-20)、◆子どもの心のケア事業など(子-①-9,35,36、応-①-16)、◆アウトリーチ推進事業(応-①-19)、◆ピアカウンセリングによる相談や交流を行う事業(子-③-1)

## 4 未来を担う子ども・若者育成プロジェクト

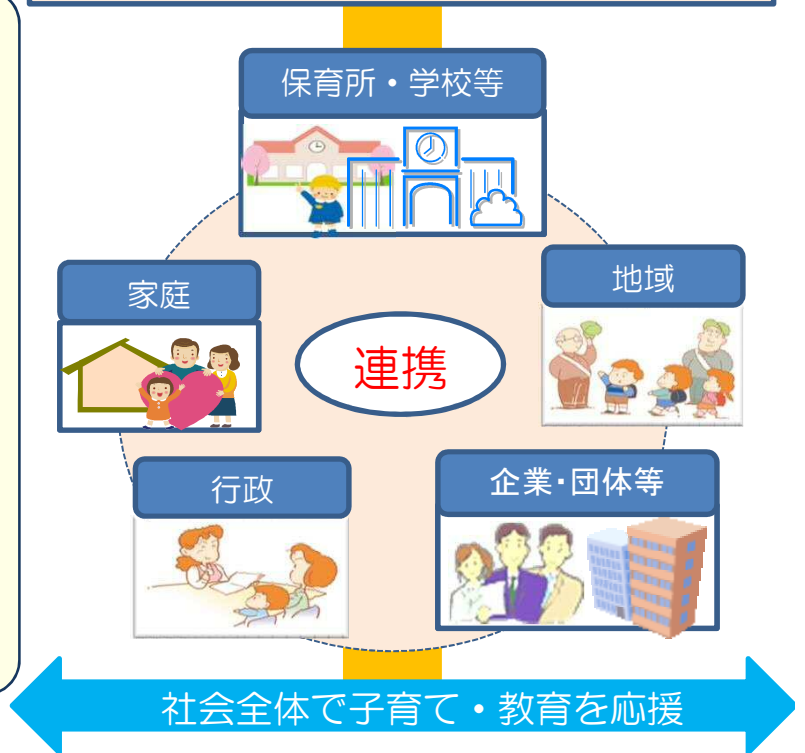
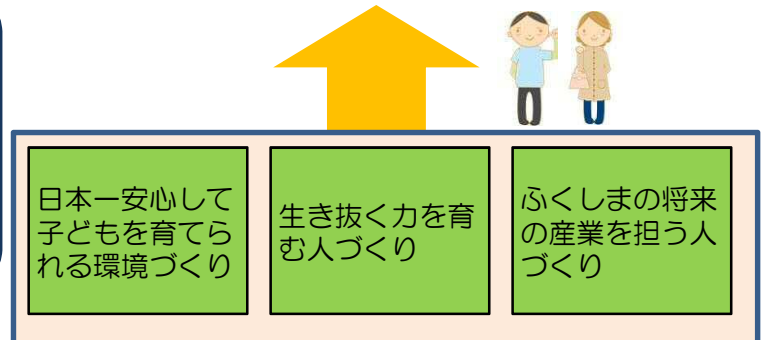
### 目指す姿

子どもやその親たちが安心して生活ができ、子育てがしたいと思えるような環境が整備され、子どもたちが心豊かにたくましく育っており、ふくしまの再生を担っている。

### プロジェクトの内容

- 1 日本一安心して子どもを育てられる環境づくり
  - ・放射性物質汚染により生じた不安の解消
  - ・震災後におけるふくしまならではの地域ぐるみの子育て体制の構築
  - ・18歳以下の医療費無料化の要請
- 2 生き抜く力を育む人づくり
  - ・震災を踏まえた確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成
  - ・理数教育、防災教育の充実や国際化の進展に対応できる人づくりなど、ふくしまならではの教育の推進
- 3 ふくしまの将来の産業を担う人づくり

### 未来を担うふくしま県人



### プロジェクト主要事業

#### 【日本一安心して子どもを育てられる環境づくり】

- ◆ふくしまっ子体験活動応援事業(子-2-7)、◆安心して子どもを遊ばせることができる屋内施設等の整備を推進する取組(子-1-40)、◆地域の寺子屋推進事業(子-1-16)、◆保育料の減免に対する支援(子-1-31)、◆地域の子育て力向上事業(子-1-17)、◆被災妊産婦支援事業(子-1-34)、◆子どもの健康を守るための保健・医療サービスの強化(子-1-33)

#### 【生き抜く力を育む人づくり】

- ◆学力向上推進支援事業(子-2-1)、◆理数教育を充実するための事業(子-2-4)、◆地域医療の担い手を育成する事業(子-2-5)、◆再生可能エネルギー教育を充実するための事業(子-2-29) ◆道徳教育を推進する事業(子-2-10)、◆体力向上を推進する事業(子-2-17)、◆防災教育を推進する事業(子-2-28)、◆国際人を育成する事業(子-2-6)、◆就学等の経済的支援(子-1-22,23,26,27)、◆私立学校設備整備事業(応-4-2)、◆サテライト校の教育環境を整備する事業(応-4-8)、◆若者の社会参画を促進する事業(子-3-2)、◆学びを通じて地域コミュニティ再生を支援する事業(子-2-21)、◆双葉地区教育構想(子-2-27)

#### 【ふくしまの将来の産業を担う人づくり】

- ◆キャリア教育を推進する事業(子-2-32)、◆地域での産業人材育成を支援するための事業(子-2-33)、◆再生可能エネルギー関連の人材を育成するための事業(子-2-35)、◆福祉・介護を支える人材を育成するための事業(子-2-39)

## 5 農林水産業再生プロジェクト

### 目指す姿

消費者への魅力にあふれ、安全・安心な農林水産物の提供を通して、本県の農林水産業の持つ力が最大限に発揮され活気に満ちている。

### プロジェクトの内容

#### 1【安全・安心を提供する取組】

- 農林漁業者自らが安全を確認できる体制の構築
- 有機農業やGAP（適正な生産工程管理）など、安心を高める取組の推進
- 情報の「見える化」を進め、世界一安全・安心な農林水産物の消費者への提供

### プロジェクトの内容

#### 2【農業の再生】

- ほ場の大区画化等の基盤整備や、新たな経営・生産方式の導入による競争力の回復
- 地域産業の6次化による生産性の高い農業の確立

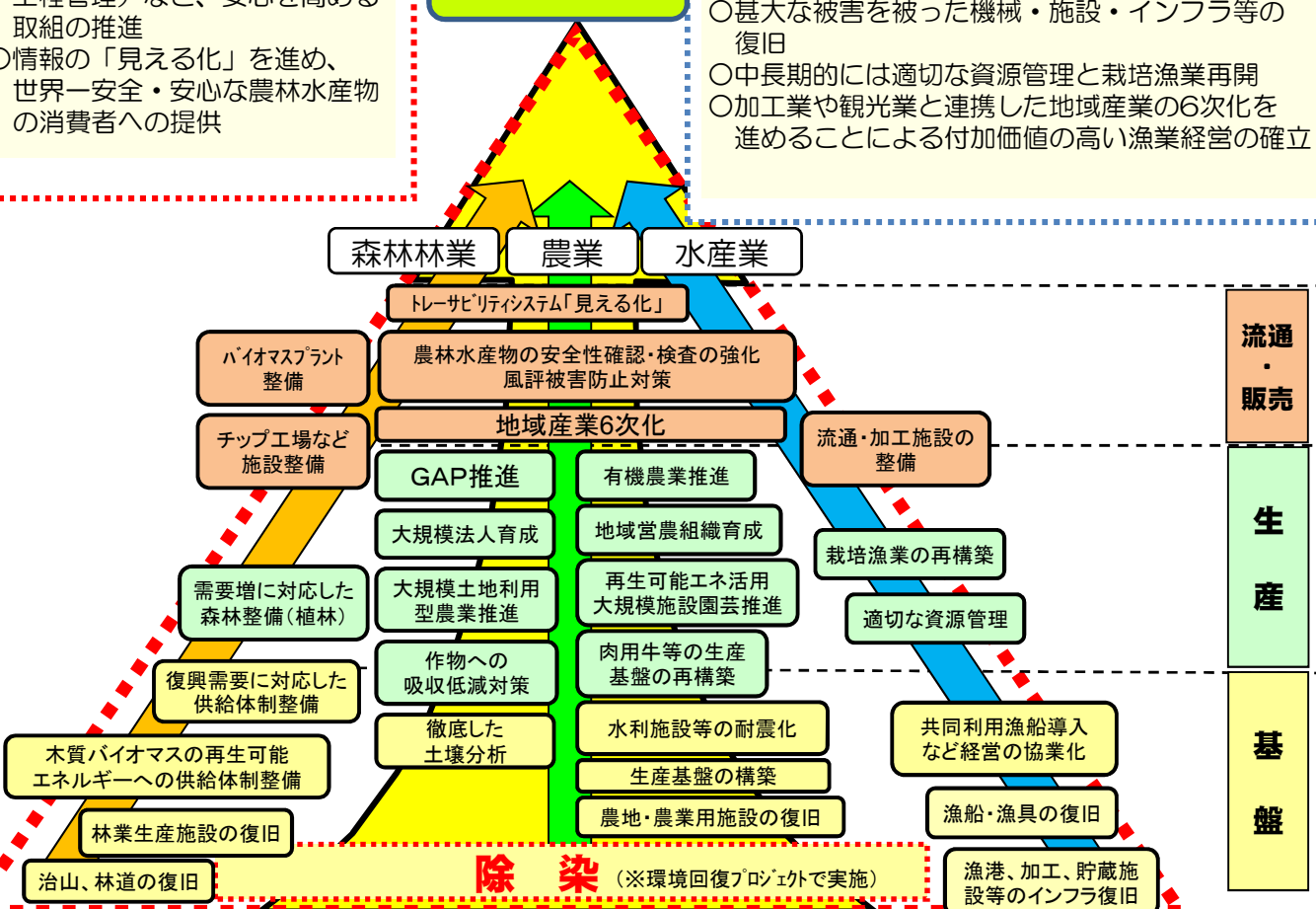
#### 3【森林林業の再生】

- 木質バイオマスを再生可能エネルギーの原料として活用
- 復興需要に対応した供給体制の整備

#### 4【水産業の再生】

- 甚大な被害を被った機械・施設・インフラ等の復旧
- 中長期的には適切な資源管理と栽培漁業再開
- 加工業や観光業と連携した地域産業の6次化を進めることによる付加価値の高い漁業経営の確立

### 農林水産業の再生



### プロジェクト主要事業

- 【安全・安心を提供する取組】** ◆農林水産物の新たな安全システムの導入を推進するための事業（産-⑧-37）、◆県産農林水産物の安全性をPRするための事業（産-③-9）、◆有機農業活用！6次産業化サポート事業（産-③-3）、◆放射性物質除去・低減技術開発事業（原-⑤-9）、◆県産材の検査体制を整備するための事業（産-⑧-45）
- 【農業の再生】** ◆代替農業用水を確保するための事業（産-③-29）、◆企業等の農業参入を支援するための事業（産-③-14）、◆再生可能エネルギー等を活用した園芸施設・共同利用施設等の導入を促進するための事業（産-③-19）、◆園芸産地の復興を支援するための事業（産-③-20）、◆肉用牛等生産基盤の再構築を図るための事業（産-③-21）、◆農林水産業を担う人材を育成するための事業（産-③-44）、◆農業農村整備事業（農地災害区画整備事業など）（産-③-12）、◆農地の利用集積を推進するための事業（産-④-14）、◆農林漁業者の地域産業の6次化を推進するための事業（産-①-27）
- 【森林林業の再生】** ◆森林の再生を図りながら県産材の利用を促進し安定供給体制を整備するための事業（産-③-32）、◆木質バイオマスエネルギーの利用促進を図るためのモデルを構築する事業（産-③-34）
- 【水産業の再生】** ◆水産業共同利用施設復旧支援事業（産-③-36）、◆資源管理型漁業を推進するための事業（産-③-37）、◆栽培漁業を再構築するための事業（産-③-38）



## 6 中小企業等復興プロジェクト

### 目指す姿

地域経済の担い手である中小企業等が活力に満ち、新たな雇用の場と収入が確保され、本県経済が力強く発展している。

### プロジェクトの内容

#### 県内中小企業等の振興

##### 1 復旧・復興

- ・被災中小企業等の事業再開・継続支援の推進
- ・産業基盤の整備
- ・商業の振興
- ・二重債務などへの金融対策
- ・復興まちづくり会社設立の推進
- ・ハイテクプラザ等による研究開発の促進
- ・起業支援の強化

##### 2 販路開拓、取引拡大

- ・県産品のブランド化及び販売促進
- ・中小企業の海外展開の推進
- ・加工食品や工業製品の販路拡大の推進

##### 3 人材育成

- ・テクノアカデミー等による人材育成

#### 企業誘致の促進

他県より抜きこんだ優遇制度の構築など（復興特区制度・福島復興再生特別措置法（仮称）等を活用した税・財政・金融上の支援措置）



#### 新たな時代をリードする新産業の創出

##### 1 再生可能エネルギー関連産業

- ・再生可能エネルギー関連産業の集積
- ・取引拡大
- ・技術移転

再生可能エネルギー  
推進プロジェクト

##### 2 医療関連産業

- ・医療関連産業の集積
- ・取引拡大
- ・技術移転

医療関連産業集積  
プロジェクト

#### 雇用の確保・創出

### プロジェクト主要事業

【県内中小企業の振興】 ◆半導体関連産業クラスター育成支援事業（産-①-13）、◆輸送用機械関連産業集積育成事業（産-①-14）、◆ものづくり復興支援事業（応-③-17）、◆中小企業等復旧・復興支援事業（応-③-12）、◆中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業（応-③-13）、◆復興まちづくり会社を支援するための事業（産-①-17）、◆ICTによる流通インフラを構築するための事業（絆-④-12）、◆県産品販路開拓事業（応-⑧-51）

【企業誘致の促進等】 ◆がんばる企業立地促進補助金（産-①-15）、◆がんばろうふくしま産業復興企業立地補助金（産-①-16）、◆地域での産業人材育成を支援するための事業（産-②-26）

# 7 再生可能エネルギー推進プロジェクト

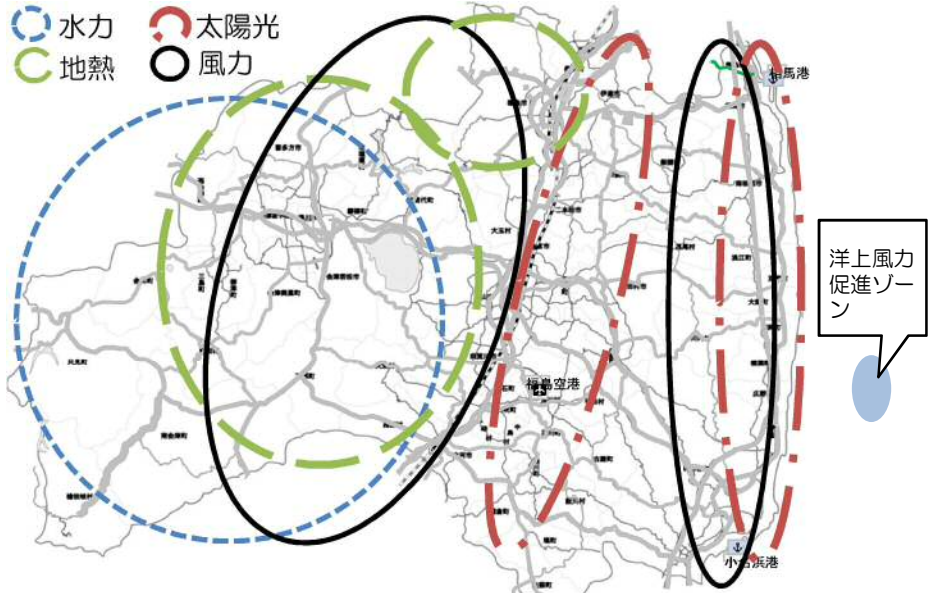
## 目指す姿

再生可能エネルギーが飛躍的に推進され、原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会へ向けた取組が進んでいる。

## プロジェクトの内容

- 1 太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスなど再生可能エネルギーの導入拡大
- 2 再生可能エネルギーに係る最先端技術開発などを実施する研究開発拠点の整備
- 3 再生可能エネルギー関連産業の集積・育成
- 4 スマートコミュニティ等による再生可能エネルギーの地産地消の推進

再生可能エネルギー資源に恵まれている地域のイメージ



※バイオマスや小水力（1,000KW以下）などについては、県全域で導入の可能性が考えられます。

### ステップ1 (初期実効型プロジェクト)

- 1 地域への再生可能エネルギーの大量導入
- 2 再生可能エネルギーに係る研究開発拠点の整備と実証研究等の実施
- 3 再生可能エネルギー関連産業の誘致・育成・取引支援

### ステップ2 (長期熟成型プロジェクト)

- 1 分散型再生可能エネルギーを活用したスマートコミュニティの実現
- 2 世界初の浮体式洋上ウィンドファームの実現
- 3 再生可能エネルギー関連産業の一大拠点化へ成長

### ステップ3

再生可能エネルギー産業等の飛躍的発展

雇用の創出

## プロジェクト主要事業

**【再生可能エネルギー導入拡大】** ◆再生可能エネルギー普及推進市町村等支援事業（再-①-6）、◆再生可能エネルギーデータベース構築事業（再-①-11）、◆再生可能エネルギー等の導入を促進するための事業（再-②-5）、◆木質バイオマスエネルギーの利用促進を図るためのモデルを構築する事業（再-②-7）、◆小水力発電を促進するための事業（再-②-10）、◆再生可能エネルギー関連の人材を育成するための事業（産-②-28）、◆公共施設等における自立・分散型の再生可能エネルギー導入等を進める事業（再-①-12）

**【研究開発拠点の整備】** ◆再生可能エネルギー関連分野における国、大学、民間の研究機関を誘致するための事業（再-②-1）、◆洋上風力発電の実証研究を行うための事業（再-②-9）

**【関連産業集積・育成】** ◆環境・新エネルギーモデル事業（再-②-12）、◆次世代エネルギー利活用事業（再-②-13）、◆がんばる企業立地促進補助金（再-②-14）、◆がんばろうふくしま産業復興企業立地補助金（再-②-16）

**【再生可能エネルギーの地産地消】** ◆スマートコミュニティの実証試験を行うための事業（再-①-9）

## 8 医療関連産業集積プロジェクト

### 目指す姿

最先端の放射線医学の研究や診断・治療技術の高度化などに関連した形で、我が国をリードする医療関連産業の集積地域となっている。

### プロジェクトの内容

- 1 医療福祉機器産業の集積
- 2 創薬拠点の整備

#### 医療福祉機器産業の集積

##### 医療機器開発・安全評価拠点の整備

技術開発と安全性（生物学的安全性等）を総合的に評価する拠点を整備

##### ふくしま医療福祉機器産業推進機構の設立

拠点の運営や薬事支援、事業化支援、人材育成等を実施

##### 医療福祉機器・介護ロボット開発ファンドの創設

医療・介護ロボット等から一般医療機器までの開発、試作・臨床研究・治験等を対象に経費補助

##### 国際的先端医療機器の開発・実証

世界初のBNCTの開発実証や手術支援ロボットの開発・実証について経費補助



#### 創薬拠点の整備

##### ふくしま医療産業振興拠点（創薬）の整備

- ・産学官共同研究施設の整備
- ・データ管理センターの整備
- ・分析機器・先端医療機器等の整備
- ・治療薬・診断薬の開発
  - がん・悪性腫瘍
  - 泌尿器疾患
  - 神経疾患
  - その他



#### 雇用の創出

#### プロジェクト主要事業

【医療福祉機器産業の集積】 ◆医療機器開発・安全評価拠点の整備（産-②-12）、  
◆ふくしま医療福祉機器産業推進機構の設立（産-②-13）、◆医療福祉機器開発ファンドの創設（産-②-14）、◆国際的最先端医療機器の開発・実証をするための事業（産-②-15）、  
◆がんばる企業立地促進補助金（産-①-15）、◆がんばろうふくしま産業復興企業立地補助金（産-①-16）、◆ふくしま医療機器産業ハブ拠点形成事業（産-①-11）、  
◆医療機器、医薬品製造業支援強化（産-①-12）

【ふくしま医療産業振興拠点（創薬）の整備】 ◆創薬分野の研究開発・製品化支援事業（産-②-16）、◆医薬品の開発・研究を担う人材を育成するための事業（産-②-30）

## 9 ふくしま・きずなづくりプロジェクト

### 目指す姿

県内外に避難している県民の心がふくしまとつながり、避難されている方々がふるさとに帰還することができるよう、地域コミュニティのきずなが再生・発展するとともに、震災を契機とした新たなきずなが構築されている。

### プロジェクトの内容

#### 1 福島県内におけるきずなづくり

- ・仮設住宅等におけるコミュニティ活動への支援
- ・県民による復興活動への支援
- ・市町村等による地域づくりへの支援
- ・避難住民に対する情報や交流の場の提供



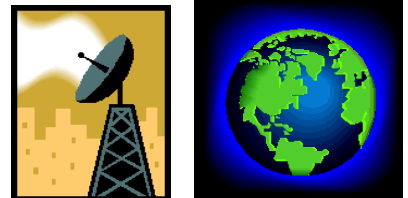
#### 2 県外避難者やふくしまを応援している人とのきずなづくり

- ・県内外の避難者へ電子回覧板等により情報を発信するとともに、避難者の意向を把握する等双方向の取組の推進
- ・県外における相談・情報提供窓口等の設置
- ・スポーツや伝統文化、農産物の販売などを通じた交流
- ・ふくしまを応援してくれる人に対する感謝を踏まえての交流の取組



#### 3 ふくしまにおける復興へ向けた取組や情報の発信

- ・ふくしまで頑張っている個人、団体の発掘
- ・テレビ、インターネットなどあらゆる媒体を複合的に活用した国内外へ向けた正確な情報の発信
- ・ふくしまをテーマとした会議等の開催や誘致



### プロジェクト主要事業

#### 【福島県内におけるきずなづくり】

- ◆新“うつくしま、ふくしま。”県民運動ステップアップ事業(絆-①-15)、◆ふくしま地域活動団体サポートセンター運営事業(絆-①-16)、◆地域づくり総合支援事業(絆-③-5)、◆地域支え合い体制づくり助成事業(絆-④-10)、◆県産農林水産物を地域で支える仕組みを構築するための事業(絆-③-4)、◆震災後の住民組織同士のネットワークづくり等を支援する事業(絆-③-7)◆避難地域等のコミュニティ再生を支援する事業(絆-①-4)、◆ICTによる流通インフラを構築するための事業(絆-④-12)、◆被災地域の文化資源等の復活に向けた事業(絆-⑤-9)

#### 【県外避難者やふくしまを応援している人とのきずなづくり】

- ◆県外避難者生活サポート拠点支援事業(絆-①-5)、◆電子回覧板等による情報の発信など(絆-①-1,⑤-17)、◆避難者と福島県とのネットワークを支援するための事業(絆-①-2)、◆スポーツ・レクリエーションの全国大会や国際大会を誘致する事業(絆-⑤-13)、◆地域防災計画の見直しにおける広域的な応援・受援体制の構築と情報通信体制の強化の検討(災-③-2)、◆ふくしま復興へ向けたメッセージの発信(絆-⑤-23)、◆ふくしま再生交流推進事業(絆-⑤-3)、◆ふくしまふるさと暮らし復興推進事業(絆-③-9)、◆まちづくりの取組を通じたふくしまの元気を全国に発信する事業(絆-③-8)

#### 【情報の発信】

- ◆地域の伝統文化による震災からの復旧・復興をアピールする事業(絆-⑤-7)、◆戦略的に情報を発信する事業(絆-⑤-15)、◆海外のマスメディア等を活用したイメージアップ事業(絆-⑤-16)、◆東日本大震災の記録を保存し活用する事業(災-⑧-1)

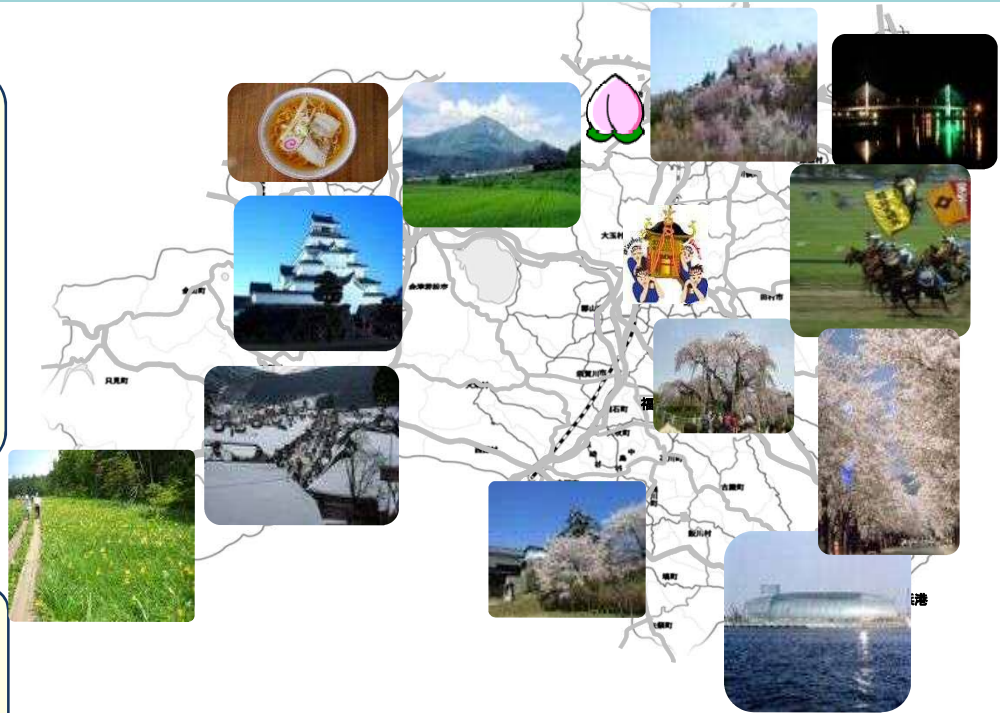
# 10 ふくしまの観光交流プロジェクト

## 目指す姿

ふくしまの誇る観光資源に一層磨きをかけるとともに芸術・文化やスポーツ等のイベントを誘致することなどにより、国内外から多くの観光客等が訪れている。

## プロジェクトの内容

- 1 テレビや映画などとのタイアップや食との連携を始めとした観光復興キャンペーンの実施
- 2 観光資源の磨き上げ、国内外の会議や芸術文化・スポーツ等の大会・イベントの積極的な誘致・開催、福島空港の活用などによる観光と多様な交流の推進



### 応急的施策

- ・風評被害対策
- ・正確な情報発信
- ・物産展等の開催による国内外への安全性のPR

### 中・長期的施策

- ・観光復興キャンペーンの実施
- ・芸術文化やスポーツの全国大会等を誘致
- ・国際会議等の誘致推進

【ふくしまのことをきちんと伝える】

【交流によるきずなを作る】

多くの観光客が訪れるふくしま

## プロジェクト主要事業

【観光復興キャンペーンの実施】 ◆有料道路無料開放事業(産-②-5)、◆福島県観光復興キャンペーンを行うための事業(産-②-6)、◆海外のマスメディア等を活用したイメージアップ事業(絆-⑤-16)、◆食と観光の連携により交流を促進するための事業(産-②-7)、◆戦略的に情報を発信する事業(絆-⑤-15)

【観光振興と多様な交流の推進】 ◆指定文化財保存活用事業(絆-⑤-5)、◆地域の伝統文化による震災からの復旧・復興をアピールする事業(絆-⑤-7)、◆国際会議等誘致推進事業(絆-⑤-24)、◆文化財の災害復旧(絆-⑤-8)、◆歴史的建造物等の復旧・魅力向上支援事業(絆-⑤-10)、◆スポーツ・レクリエーションの全国大会や国際大会を誘致する事業(絆-⑤-13)、◆地域づくり総合支援事業(サポート事業(復興関連事業))(絆-⑤-1)、◆磐梯山ジオパーク推進事業(産-②-10)

# 1 1 津波被災地復興まちづくりプロジェクト

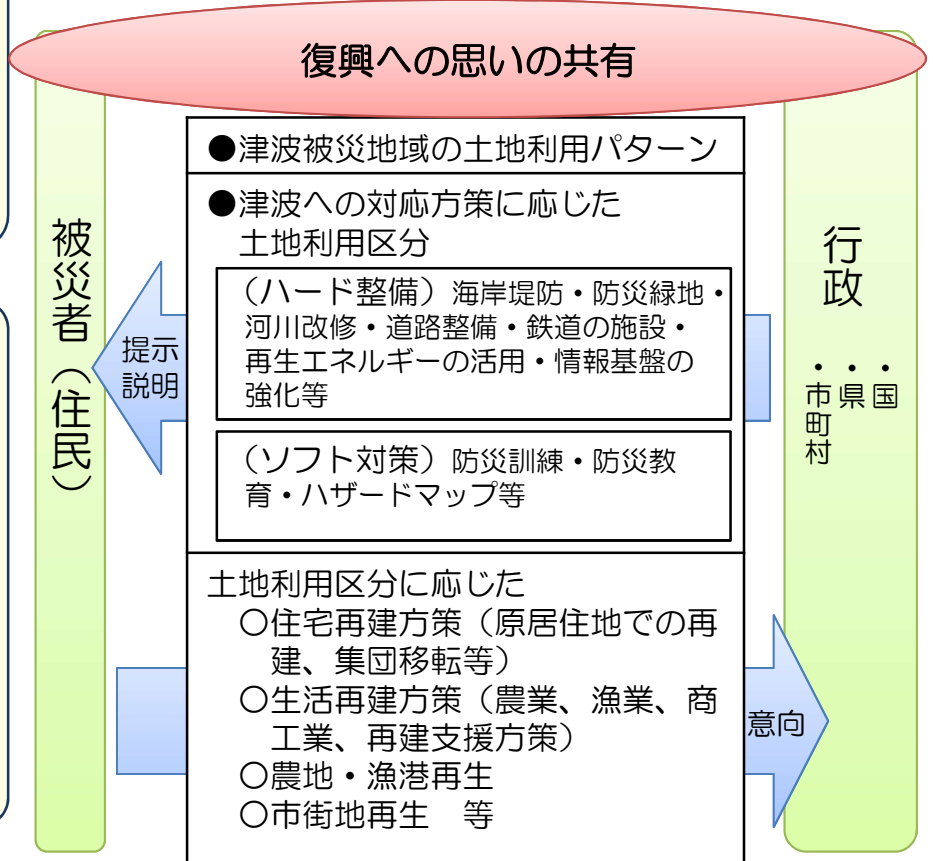
## 目指す姿

津波により甚大な被害を受けた沿岸地域において、「減災」という視点からソフト・ハードが一体となり、防災機能が強化されたまちが生まれている。

## プロジェクトの内容

- 1 海岸堤防の嵩上げ、防災緑地、道路、鉄道、土地利用の再編など、複数の手法を組み合わせた「多重防御」による総合的な防災力が向上したまちづくり
- 2 防災訓練の強化や防災リーダーの育成などによる防災意識の高い人づくり・地域づくり
- 3 地域とともに取り組む復興のまちづくり計画策定及び実施

## 津波被災地域のまちづくりの検討プロセス



## プロジェクト主要事業

### 【「多重防御」による地域の総合防災力の向上】

- ◆公共土木施設等災害復旧事業(海岸)(災-④-14)、◆河川流域総合情報システム整備事業(災-①-16)、◆河川改修事業(災-②-14)、◆道路整備事業(災-④-12)、◆被災市街地復興土地区画整理事業(災-④-10)、◆防災集団移転促進事業(災-④-11)、◆防災緑地整備事業(災-④-13)、◆防災林造成事業(災-④-6)、◆農地災害区画整備事業(災-④-25)、◆福島県地域防災計画の見直し及び市町村が策定する地域防災計画についての技術的助言(災-①-1)

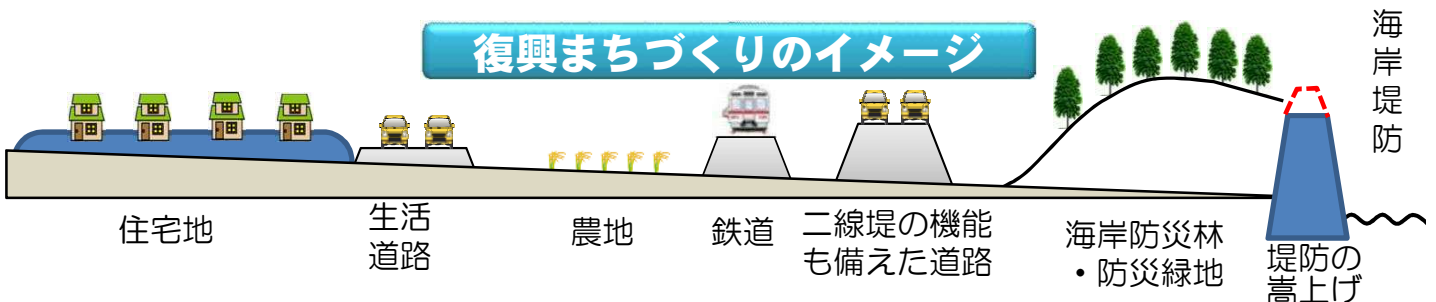
### 【防災意識の高い人づくり・地域づくり】

- ◆総合情報通信ネットワーク整備事業(災-①-6)、◆防災リーダー育成研修等(災-⑦-1)、◆防災教育を推進する事業(災-⑦-4)

### 【地域とともに取り組むまちづくり】

- ◆まちなみ再生支援事業(災-④-22)、◆JR常磐線災害復旧・基盤強化事業(災-②-9)、◆復興まちづくり会社を支援するための事業(災-④-20)

## 復興まちづくりのイメージ



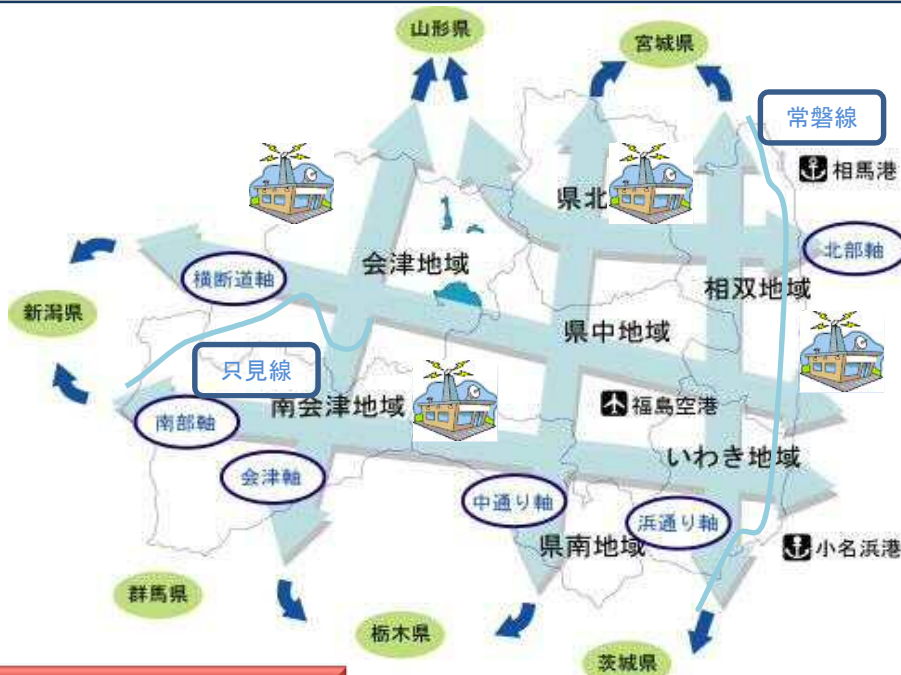
## 1 2 県土連携軸・交流ネットワーク 基盤強化プロジェクト

### 目指す姿

かねてから県土のグランドデザインとして整備を進めてきた縦・横6本の連携軸、福島空港、小名浜・相馬港の機能や情報通信基盤の強化された新たな県土が形成されている。

### プロジェクトの内容

- 1 浜通りの復興の基盤となる「浜通り軸」の早期復旧・整備と、生活を支援する道路の整備
- 2 浜通りと中通りをつなぐ復興を支援する道路や東西連携道路など、災害に強く本県の復興を推進する道路ネットワークの構築
- 3 福島空港、小名浜港、相馬港の早期復旧・機能強化による、本県の物流、観光の復興を支える基盤の整備
- 4 JR常磐線・只見線の早期復旧
- 5 災害時における情報通信手段の強化



### プロジェクト主要事業

#### 【浜通りを始め本県の復興の基盤となる道路等の整備】

◆東北中央自動車道整備事業(災-②-1)、◆常磐自動車道整備事業(災-②-2)、◆磐越自動車道整備事業(災-②-3)、◆道路整備事業(災-②-4)

#### 【港湾・空港等の機能強化】

◆港湾整備事業(小名浜港・相馬港)(災-②-26,28)、◆直轄港湾整備事業(小名浜港・相馬港)(災-②-27,29)、◆福島空港における防災機能強化の検討(災-②-30)

#### 【JR常磐線・只見線の早期復旧】

◆JR常磐線災害復旧・基盤強化事業(災-②-9)、◆JR東日本・国に対する早期復旧の要望(JR常磐線・只見線)(災-②-7,10)、◆福島県JR只見線復興連絡会議等での検討(災-②-11)

#### 【情報通信基盤の強化】

◆情報通信ネットワークを整備する事業など(災-①-6,9)、◆自治体クラウドを支援する事業(災-①-7)

# 12 県土連携軸・交流ネットワーク強化プロジェクト【ネットワーク図】

## (基幹的な道路・地域連携道路) 県土の骨格をなすネットワーク図

### 【基幹的な道路※】

- ・県土の骨格となる道路
- ・県外と結ばれ生活圏の中心都市を連絡する道路

### 【地域連携道路※】

- ・基幹的な道路を補完し、隣接する生活圏を相互に連携する道路
- ・基幹的な道路と一体的な道路ネットワークを形成する道路

※「ふくしま道づくりプラン」の類型区分による。

### 凡 例

	基幹的な道路
	地域連携道路

